

《内閣府 男女共同参画局から》

- リーフレット「『輝く女性の活躍を加速する男性リーダーの会』行動宣言賛同への招待」を改訂しました！
- 「パープル・ライトアップ」を実施してみませんか？－実施団体募集－
- 「Let's be a STEM Girl!!～地域から未来の理工系女子を～」を全国10都市で開催(9月～)
- 【締切迫る！】来たれ、リーガル女子！女性法曹の仕事に興味がある中高生向けシンポジウムを開催します

《お知らせ》

- NWEC女性アーカイブセンター所蔵展示『ベアテ・シロタ・ゴードン展』【文部科学省】
- 国際芸術祭「あいちトリエンナーレ2019～情の時代～」（8月1日（木）～10月14日（月・祝）開催）  
【お知らせ】
- 2019年度「企業を成長に導く女性活躍促進セミナー」開催【文部科学省】
- 両立支援等助成金 仕事と家庭の両立支援に取り組む事業主を応援します！【厚生労働省】

●2019年度「学校における男女共同参画研修」開催【文部科学省】

●「男性の育児休業取得促進セミナー」及び「イクボスになるためのポイントを学ぶセミナー」の参加者募集中！【厚生労働省】

●2019年度「NWECCグローバルセミナー」開催【文部科学省】

-----  
《内閣府 男女共同参画局から》

●リーフレット「『輝く女性の活躍を加速する男性リーダーの会』行動宣言賛同への招待」を改訂しました！

内閣府では、「輝く女性の活躍を加速する男性リーダーの会」行動宣言の概要や賛同者の具体的な活動を紹介するリーフレット（日・英）を作成しています。

この度、地域における男性リーダーのネットワークや、国内外への発信等の活動をご紹介した令和元年度版を男女共同参画局HPに掲載しましたので、ぜひご活用ください。

※ダウンロードはこちら↓

[http://www.gender.go.jp/policy/sokushin/male\\_leaders/declaration.html#leaflet](http://www.gender.go.jp/policy/sokushin/male_leaders/declaration.html#leaflet)

●「パープル・ライトアップ」を実施してみませんか？－実施団体募集－

内閣府では、女性に対する暴力根絶のシンボルであるパープルリボンにちなんで、「女性に対する暴力をなくす運動」期間の初日（11月12日）に、東京スカイツリーなどを紫にライトアップする、パープル・ライトアップを実施しています。

パープル・ライトアップには、女性に対するあらゆる暴力の根絶を広く呼びかけるとともに、被害者に対して、「ひとりで悩まず、まずは相談をしてください。」というメッセージが込められています。

毎年、運動期間中（11月12日～11月25日）に、この趣旨にご賛同いただいた各地のタワーや商業施設などでも、パープル・ライトアップを実施していただいておりますが、各地での取組をさらに広めていきたいと考えています。

ぜひ下記URLより募集ページをご覧ください、実施のご検討をお願いいたします。

また、実施いただけそうな施設や団体にお心当たりの方は、情報のシェアをお願いします。

地方公共団体、企業、学校、その他幅広い方々からのご協力をお待ちしています！

詳細はこちらをご覧ください。

[http://www.gender.go.jp/policy/no\\_violence/purple/index.html](http://www.gender.go.jp/policy/no_violence/purple/index.html)

## ● 「Let's be a STEM Girl!!～地域から未来の理工系女子を～」を全国10都市で開催(9月～)

「Let's be a STEM Girl!!～地域から未来の理工系女子を～」は、理系選択のその先にどんな未来があるのか、児童・生徒の皆さんとその保護者の皆さんに「理系選択の未来」を知っていただく内閣府が主催するイベントです。9月から11月の間に全国10都市で開催します。

理工系分野で活躍しているSTEM Girls Ambassadors（内閣府が委嘱している理工系女子応援大使）にご登壇いただき、ご自身の経験談をお話いただきます。また、理工系分野で女性が活躍している地元企業の紹介、研究所や企業での仕事や実験等を体験できるワークショップの開催を予定しており、みなさんが理工系の仕事に抱いているイメージとは異なる発見があったり、ご自身の進路を考える上での参考にしていただけます。

数学や理科が苦手な児童・生徒の皆さん、理系に縁のなかった保護者の皆さんにもお楽しみいただけるイベントですので、ぜひご参加ください。

開催都市と日時は以下の通りです。(参加無料 定員は各会場100名)

- ・岩手県花巻市 10月14日 (月・祝)
- ・京都府舞鶴市 11月4日 (月・休日)
- ・福岡県古賀市 11月10日 (日)
- ・愛知県刈谷市 11月16日 (土)
- ・長野県上伊那広域連合 11月23日 (土・祝)
- ・鳥取県琴浦町 (調整中)

※千葉県木更津市は9月14日 (土) の開催を予定しておりましたが、台風15号の影響で延期となりました。

代替の日程につきましては、決まり次第専用サイト上でご案内をさせていただきます。

※会場やプログラム内容等の詳細につきましては、以下の専用サイトのURLをご確認ください。順次参加申込受付を開始しております。

<https://www.libertas.co.jp/stem2019/>

●【締切迫る！】来たれ、リーガル女子！女性法曹の仕事に興味がある中高生向けシンポジウムを開催します

内閣府は、男女共同参画推進連携会議及び日本弁護士連合会等との共催により、以下のとおりシンポジウムを開催します。奮ってご参加ください。

「来たれ、リーガル女子！～女性の弁護士・裁判官・検察官に会ってみよう～」

日時：令和元年11月3日 (日・祝) 13時～17時

場所：名古屋大学アジア法交流館 (名古屋市千種区不老町)

以下の会場で中継を行います。

福岡県弁護士会館 2階大ホール

鹿児島大学郡元キャンパス 総合教育研究棟 3階マルチメディア教室

金沢弁護士会 2階大ホール

早稲田大学大学院法務研究科

定員：150名（名古屋）、100名（福岡）、30名（鹿児島）、20名（金沢）、80名（東京）

参加費：無料

申込・詳細は愛知県弁護士会ウェブサイトをご覧ください。

<https://www.aiben.jp/about/katsudou/danjyosankaku/post.html>（外部サイト）

このほかの「国・地方連携会議ネットワークを活用した男女共同参画推進事業」開催情報は内閣府ウェブサイトです。随時更新してまいりますので、ぜひご覧ください。

<http://www.gender.go.jp/public/event/2019/index.html>

## 《お知らせ》

### ● 「NWECA女性アーカイブセンター所蔵展示『ベアテ・シロタ・ゴードン展』」【文部科学省】

NWECAでは、女性アーカイブセンター所蔵展示『ベアテ・シロタ・ゴードン展』を開催します。

ベアテ・シロタ・ゴードンさん（1923～2012）は、ウィーンで生まれ1929年に著名なピアニストである父レオ・シロタ氏の東京芸術大学教授赴任に伴い家族で来日しました。日本のアメリカンスクールを卒業後、アメリカ西部の伝統ある女子大ミルズ・カレッジに学びます。1945年から1946年の2年間、再び日本に滞在し、GHQ民政局員として日本国憲法草案作成に携わり、草案第14条「法の下（もと）の平等」、第24条「両性の平等の原則」の条文作成に寄与しました。1990年頃からは、日本各地で自身が関わった日本国憲法についての講演活動を活発に行いました。

ベアテさんの幼少期から晩年までの各時代の写真、日本国憲法草案作成に関わる資料、日本での講演のチラシ・パンフレットなどを展示します。みなさまのご来場をお待ちしています。

・期間 2019年4月26日（金）～2019年9月30日（月）

9時～19時（休館日をのぞく）

- ・会場 国立女性教育会館女性アーカイブセンター展示室（本館1階）
- ・料金 無料

●「あいちトリエンナーレ2019～情の時代～」の開催（8月1日（木）～10月14日（月・祝））【お知らせ】

【あいちトリエンナーレ2019～情の時代～】

日程：2019年8月1日（木）～10月14日（月・祝） [75日間]

会場：愛知県及び豊田市の美術館、市内各地

テーマ：「情の時代」感情／情報／情（なさけ）など

※「ジェンダー」をテーマとした作品も紹介されます。

今年2019年8月1日（木）から10月14日（月・祝）の75日間の日程で、愛知県名古屋市と豊田市で開催される国際芸術祭「あいちトリエンナーレ2019」で、参加作家の完全なジェンダー平等が実現する運びとなりました。

美術業界は女性の割合が多い業界で、現在の主要な美大の男女比は、7割が女性で男性は3割です。美術館の学芸員も女性が多く、66%——3人に2人は女性です。しかし、行政が主導する国際芸術祭の参加作家となると、海外であっても、日本であっても参加作家の割合は、男性7割、女性3割と逆転します。美術館の館長は9割近くが男性です。

美大の教員も8割以上男性によって占められています。女性の中に良い作家がたくさんいるのに、「選ぶ側」が男性中心であるためこの構造が変わらない——あいちトリエンナーレではこの構造を変えるアフーマティブ・アクションとして、今回の参加作家のジェンダー平等を実現しました。

会場では、参加女性作家による、ジェンダーの問題を想起させるようなアートも展示される予定です。

会期が始まりましたらぜひ皆様愛知県まで足をお運びください。

※詳細は以下をご覧ください。

<https://aichitriennale.jp/>

●2019年度「企業を成長に導く女性活躍促進セミナー」開催【文部科学省】

国立女性教育会館（NWEC）では「働きがい成長につなげる～女性が活躍する職場環境と人材育成～」をテーマとして標記セミナーを開催します。

一億総活躍社会を実現するために、働き方改革法が施行され、さらに女性活躍推進法の改正により中小企業にも義務が拡大されました。今まさに、一人ひとりが活躍できる多様な働き方が求められています。社員一人ひとりが働きがいを持っていきいきと働ける職場風土や、社会の発展に結びつく企業のあり方について考えます。

日程：10月23日(水)～24日（木）1泊2日 ※日帰り参加可

会場：1日目：放送大学東京文京学習センター（茗荷谷駅より徒歩3分）

2日目：国立女性教育会館（埼玉県比企郡嵐山町菅谷728）

※1日目のプログラム終了後、無料バスで国立女性教育会館へ移動

対象：ダイバーシティ（女性活躍促進）の推進者、管理職、リーダー 80名

※企業の方に限らず官公庁・独立行政法人の方もご参加いただけます

参加費：無料（宿泊費：1,200円／1泊、食事代が別途かかります）

申込：10月8日（火）締切 ※先着順

詳しくは、こちらをご覧ください。

[https://www.nwec.jp/event/training/g\\_kigyo2019.html](https://www.nwec.jp/event/training/g_kigyo2019.html)

問合せ先

国立女性教育会館事業課 山口、中島

TEL:0493-62-6724

## ●両立支援等助成金 仕事と家庭の両立支援に取り組む事業主を応援します！【厚生労働省】

厚生労働省では、育児・介護などと仕事の両立支援に取り組む事業主の方向けに、「両立支援等助成金」を支給しています。優秀な人材を確保・定着させるために、育児・介護による離職を防ぐ職場環境づくりを進めたいと考えている事業主の皆さま、ぜひこの助成金をご活用ください！

(両立支援等助成金の主なコース)

### ・出生時両立支援コース[子育てパパ支援助成金]

男性労働者が育児休業や育児目的休暇を取得しやすい職場環境づくりに取り組み、子の出生後8週間以内に育児休業などを取得させた事業主に支給します。

### ・介護離職防止支援コース（対象：中小企業事業主）

中小企業事業主が、「介護支援プラン」を策定して労働者の円滑な介護休業の取得・職場復帰に取り組んだ場合、または介護のための柔軟な就労形態の制度（介護両立支援制度）を導入し、利用者が生じた場合に支給します。

### ・育児休業等支援コース（対象：中小企業事業主）

中小企業事業主が、「育休復帰支援プラン」を策定して労働者の円滑な育児休業の取得・職場復帰に取り組んだ場合、育休取得者の代替要員を確保した場合、復帰後仕事と育児の両立が特に困難な時期の労働者の支援に取り組んだ場合に支給します。

### ・再雇用者評価処遇コース[カムバック支援助成金]

妊娠、出産、育児、介護または配偶者の転勤などを理由として退職した労働者が、就業が可能になったときに復職できる制度を導入し、希望者を再雇用した事業主に支給します。

このほか、支給のための詳しい要件などについては、以下のURLをご覧ください。

【両立支援等助成金について】

<https://www.mhlw.go.jp/content/000539051.pdf>



●2019年度「学校における男女共同参画研修」開催【文部科学省】

国立女性教育会館（NVEC）では、学校現場や家庭が直面する現代的課題について、男女共同参画の視点から捉え、理解を深めることを目的とした標記研修を開催します。

変化の著しい社会状況下において、児童生徒の人格を形成し、その「生きる力」を高めていくためには、指導に当たる教職員が男女共同参画の視点をしっかりと身につけ、人権感覚を磨くとともに、教職員がその能力を十分に発揮することができる職場環境を整備することが大切です。この研修では、男女共同参画の基本について学ぶとともに、自身の働き方や子供たちとの接し方について振り返り、学校現場の背景に横たわる社会問題を俯瞰し、様々な問題を解決するヒントを探ります。

日程：11月21日(木)～22日（金）1泊2日 ※日帰り参加可

会場：国立女性教育会館（埼玉県比企郡嵐山町菅谷728）

対象：教育委員会など教職員養成に関わる機関の職員、小学校・中学校・義務教育学校・中等教育学校前期課程の管理職及び教職員（国公立、私立）50名

参加費：無料（宿泊費：1,200円／1泊、食事代が別途かかります）

申込：9月24日（火）～11月14日（木）17時

詳しくは、こちらをご覧ください。

[https://www.nvec.jp/event/training/g\\_kyoin2019.html](https://www.nvec.jp/event/training/g_kyoin2019.html)

問合せ先

国立女性教育会館事業課 櫻井、北堀

TEL:0493-62-6724

●「男性の育児休業取得促進セミナー」及び「イクボスになるためのポイントを学ぶセミナー」の参加者募集中！【厚生労働省】

(参加無料) ～福島・福岡・滋賀・北海道・岐阜・神奈川・東京・大阪～

「男性の育児休業取得促進セミナー」

男性の育児休業や育児目的休暇の取得推進のため、育休取得のメリットや企業の実践事例などを紹介するセミナーを実施します。

企業の人事労務担当の方が社内研修に使用できる資料を使い、育休取得のポイントを分かりやすく解説します。

■福島県

日時 2019年10月29日(火) 14:00～16:00

会場 福島県ハイテクプラザ 多目的ホール

※福島県と共催

■福岡県

日時 2019年11月8日(金) 14:00～16:00

会場 TKP博多駅筑紫口ビジネスセンター 3階301

※福岡市と共催

■滋賀県

日時 2019年11月12日(火) 13:30～16:30

会場 ピアザ淡海3階大会議室

※滋賀県と共催

■北海道

日時 2019年11月22日(金) 14:00～15:00

会場 札幌エルプラザ

※札幌市と共催

■岐阜県

日時 2019年12月2日(月) 14:00～16:00

会場 OKBふれあい会館3階302大会議室

※岐阜県と共催

■神奈川県

日時 2019年12月6日(金) 14:00～16:00

会場 ラジオ日本クリエイイト事務局3階A会議室

「イクボスになるためのポイントを学ぶセミナー」

育児・介護などにより働き方に制約のある社員が今後増えることが予想されるなかで、部下の仕事と家庭の両立を理解・応援し、成果を出す管理職「イクボス」が必要とされています。

このセミナーでは、講義とグループワークを通じて、イクボスが求められている背景や、イクボスのポイント、メリットなどを分かりやすく解説します。

※こちらは2回で1セットの連続セミナーのため、両日の参加をお願いします。

■東京

日時 (第1回) 2019年11月7日 (木) 14:00～16:00

(第2回) 2019年12月12日 (木) 14:00～16:00

会場 日本教育会館 8階807号室

■大阪

日時 (第1回) 2019年12月3日 (火) 14:00～16:00

(第2回) 2020年1月28日 (火) 14:00～16:00

会場 大阪府立男女共同参画・青少年センター 4階大会議室1

※大阪府と共催

【参加申込みなど詳細はこちら】

<https://ikumen-project.mhlw.go.jp/event/#seminar>

●2019年度「NWECグローバルセミナー」開催【文部科学省】

国立女性教育会館（NWEC）では、「ジェンダーとメディア」をテーマとして、メディアが女性のエンパワメントの推進に果たす役割やメディアにおけるジェンダー表象について、日米の専門家を招聘し議論をおこないます。（日英同時通訳付き）

日程：令和元年12月6日（金）13時～16時30分

会場：主婦会館（プラザエフ）（東京都千代田区六番町15）

対象：メディア関係者、企業関係者、研究者、男女共同参画の行政担当者、女性関連施設職員、女性団体等のリーダー等 80名程度

申込：メールまたはFAXにて 12月2日（月）締切

参加費：無料

詳しくはこちらをご覧ください。

<https://www.nwec.jp/global/seminar/ecdat60000004ous.html>

問合せ先

国立女性教育会館研究国際室 越智

TEL:0493-62-6437

=====  
●内閣府 男女共同参画局のホームページは、男女共同参画に関する総合的な情報提供サイトです。  
男女共同参画社会を実現するための法律、基本計画、関係予算等のほか、男女共同参画に関する政策・  
活動等の情報を掲載しています。

<http://www.gender.go.jp>

●男女共同参画局メールマガジンについて

男女共同参画局メールマガジンは、隔週金曜日に配信しています。

次号は、令和元年10月25日（金）に配信する予定です。

=====  
●このメールは送信専用メールアドレスから配信されております。このまま御返信いただいてもお答え  
できませんので御了承ください。

配信中止・配信先変更は、こちらから

<http://www.gender.go.jp/magazine/index.html>

バックナンバーはこちらから

<http://www.gender.go.jp/magazine/backnumber/index.html>

このメールマガジンへの御意見・御要望はこちらから

<https://form.cao.go.jp/gender/opinion-0001.html>